

年 報 3

昭 和 61 年 度

1 9 8 7 . 3

山梨県埋蔵文化財センター

序

当埋蔵文化財センターも開設されて以来5年を経過いたしましたが、この間に行なった調査は地域の歴史学の発展にささやかながら貢献して來たものと思っております。今年度は中央自動車道建設に伴う発掘調査の整理事業の最終年度でありまして、釈迦堂遺跡、二の宮遺跡など4遺跡の報告書を刊行いたしました。また、八ヶ岳の麓では丘の公園地内の遺跡群や清里の森地内遺跡群の調査などを実施し、高冷地における遺跡の存在を明らかにいたしました。風土記の丘公園地内の上の平遺跡では新たな方形周溝墓なども検出されました。その他、多くの遺跡が発掘され、年内にすでにその成果を公刊したものもあります。

また県内の市町村で行なった調査では、敷島町の天狗沢から白鳳期の瓦窯址が発見されたことが特筆されます。この瓦を使用した遺跡はまだ発見されていませんので今後の調査が期待されます。また一宮町では国史跡甲斐四分寺の寺域確認調査によって寺域が明らかにされ、後期古墳の調査からは多くの副葬品が出土いたしました。その他、昨年に引き続き調査した高根町の石堂遺跡など、県内各地で多くの成果が発表されております。今後更に多くの成果を期待したいと思っております。

1987年3月

山梨県埋蔵文化財センター

所長 磯貝正義

目 次

61年度の概要	1
上の平遺跡	2
岩清水遺跡・考古博物館構内古墳	3
清里の森第1遺跡	4
丘の公園第1・2・3・4遺跡	6
郷藏地遺跡	8
の沢北遺跡	10
天神下遺跡	11
山口遺跡	11
クラフトパーク（候南工芸公園）建設遺跡分布調査	11
八ヶ岳東南麓遺跡分布調査	12
塩川ダム建設に伴う遺跡分布調査	12
昭和58年度～昭和61年度発掘調査一覧	13

61年度の概要

① 事業概要

今年度当埋蔵文化財センターで実施した発掘調査事業は、風土記の丘公園地内にある上の平遺跡・岩清水遺跡及び無名墳・清里の森第1遺跡・丘の公園地内遺跡・塩川ダム建設に伴う遺跡分布調査及び郷歳地遺跡・笛吹川農業水利事業に伴う一の沢北遺跡及び天神遺跡と山口遺跡・八ヶ岳広域農道遺跡分布調査・クラフトパーク遺跡分布調査である。風土記の丘建設に伴う上の平遺跡発掘調査においては、新たな方形周溝墓と共に弥生時代の住居址が検出された。また縄文時代前期末から中期中葉の住居址が多数検出された。別荘地開発に伴う清里の森第1遺跡の発掘調査では標高1,320mの高冷地から縄文時代中期と早期の遺跡が検出された。このことは、今後このような高冷地における遺跡の発見が増加することをものがたっている。丘の公園地内における発掘調査では、新たな遺跡が4箇所確認された。須玉町比志にある郷歳地遺跡では、縄文時代中期後半の敷石住居が一軒検出された。考古博物館構内古墳では、耕作によって破壊された古墳の石室から多くの鉄製品が出土した。これらは鐵鏟や鎌の小札である。一の沢北遺跡では、縄文時代の住居址など5軒が検出された。クラフトパーク建設予定地内の分布調査では、從来から焰硝藏跡といわれている所を試掘し、周囲にめぐらされた洞を確認した。さらにその西側で数段に削平された土壠を作り遺構を発見した。

整理作業を行った遺跡は、积迦堂遺跡・二の宮遺跡・姥塚遺跡・金生遺跡・北一の沢遺跡・金の尾遺跡・上の平遺跡である。報告書を刊行した遺跡は、积迦堂遺跡・二の宮遺跡・姥塚遺跡・寺所遺跡・金の尾遺跡・上野原遺跡・切附遺跡・智光寺遺跡・八ヶ岳東南麓他遺跡分布調査（クラフトパークを含む）・郷歳地遺跡・横畠遺跡・弥次郎遺跡・丘の公園地内遺跡である。

② 各地の概要

都留市教育委員会が実施した尾咲原遺跡の調査では、縄文時代の中期から後期にかけての遺構が検出された。高根町教育委員会が昨年に引き続き調査した石堂遺跡からは、南西に広がる方形の配石遺構が検出された。また方形の後期土偶が出土した。敷島町教育委員会が実施した羅漢寺廐寺跡の発掘調査では車裏跡の礎石群と中世末から近世にかけての遺物が発見された。また同教育委員会が調査した天狗沢窯址からは、窯跡3基などの存在が確認された。一宮町教育委員会が実施した史跡甲斐國分寺の寺域確認調査において北東部分の溝が新たに確認された。これによって国分寺の寺域が2町×2.5町であることが明らかになった。また同町教育委員会が調査した築地占墳群では、2基の横穴式石室を持つ古墳が調査され、多量の遺物と共に人骨が検出された。甲府市教育委員会が調査した本郷遺跡では、中世末の遺構が検出された。富士吉田市教育委員会が調査した池之元遺跡からは、縄文時代の後期の住居1軒、平安時代の住居が1軒検出された。

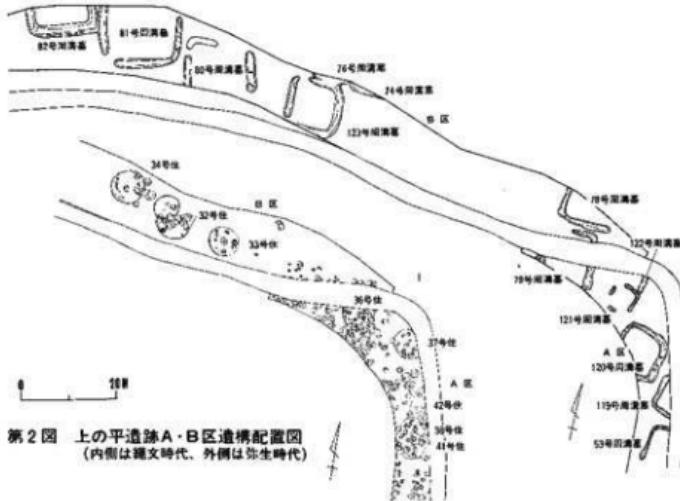
上の平遺跡（第5次調査）

所在地 東八代郡中道町下向山
事業名 公園整備事業
調査期間 昭和61年4月25日～8月30日
担当者 中山誠二
面積 4,500m²

第5次調査区域は、第4次調査の北側に連結した地域で、幅10m、長さ400m程の範囲である。発見された遺構は、縄文時代の住居址8軒、竪穴状遺構1基、土壙115基、埋葬4基、ピット群3群、弥生時代の方形周溝墓17基（内10基は過去確認済）平安時代の住居址2軒である。

縄文時代の住居址は、前期末葉十三苦提式期2軒、中期初頭五領ヶ台式期2軒、中期中葉内式期3軒、井戸尻式期1軒が検出された。前回の調査から通算すると該期の住居址は22軒となる。縄文集落は、本遺跡東北部に位置し、直径160m程の環状又は弧状に巡るものと推定される。

方形周溝墓で注目すべきことは、81号周溝墓の溝内より「合せ口壺棺」が発見されたことである。本遺跡では、表面の削平が著しく主体部を含む封土部分が全く確認されておらず、埋葬施設としては初めての発見である。第1次～第5次調査で方形周溝墓の総計は124基を数えるまでに至った。



第2図 上の平遺跡A・B区遺構配置図
(内側は縄文時代、外側は弥生時代)

岩清水遺跡・考古博物館構内古墳

所在 地 東八代郡中道町下曾根小字岩清水
事 業 名 公園整備事業
調査期間 昭和61年10月1日～11月25日
担 当 者 坂本英夫
面 積 2,700 m²

岩清水遺跡、構内無名墳は、盆地南東縁に連なる曾根丘陵のうちの、間門川と滻川とによって形成された一支丘が、平地と接する傾斜変換線上の標高257m付近に立地する。

岩清水遺跡

本遺跡は昭和53年に発掘調査が実施された地域の南側に接した斜面上である。調査地域特に西側で東山より発する沢に沿った付近から、土師器片が採集されたため、トレシチを等高線と直向する方向に5mピッチで設定し、造構の検出にあたった。しかし、仕居址などの造構は全く検出されなかった。また表面採集された上器片については、東山より発した沢沿いに遺物包含層が確認され、上部より押し出されたり流出した土砂の中に入っていたものが、開墾などによって表面に出てきたものと判断されるに至った。なお土師器片はほとんど細片のものばかりであったが、およそ弥生時代末～古墳時代初めに位置づけられた。

考古博物館構内古墳

本墳は本墳の西方に位置する古墳との間に名称の混同が見られた。そのため文献などから西側に位置する古墳をかんかん塚（茶塚）古墳、本墳を考古博物館構内古墳とすることにした。

本墳は昭和56年度に県教育委員会によって、博物館建設に伴い第1次発掘調査が実施されている。その成果は多くなく、今回、公園整備に伴う第2次調査を実施した。その結果、奥壁と目された築石から南側に横穴式石室の存在したことが、初めて確認された。

横穴式石室の残存状況は床面の敷石を除き、閉塞石とそれに続く右側壁の極一部を確認できただけにすぎない。床面の敷石は河原石を使用したもので、ほぼ完全に残っており、これから石室規模を明確に捉えることができた。長方形を呈する無袖型横穴式石室で、全長6.5m、玄室長5.6m、同幅2.1mを測る。

石室の敷石直上あたりから直刀、刀子、鉄鎌、桂甲小札、馬具、玉類（丸玉、小玉）、須恵器、土師器類などの副葬品が比較的豊富に発見された。中でも奥壁に寄った部分に集中していた。

本墳の石室南側には緩傾斜の斜面が徐々に高まって続いているが、閉塞石より約10mのところにおいて、斜面を削平して石室の人口に至る間に平坦面を作っている状況が捉えられた。なお、墳丘はほとんど残っておらず、かつ崩溝等の施設も確認できなかったために、墳丘規模は明確にならなかった。

本墳は副葬品などから、およそ6世紀前半代に築造され、7世紀代まで追葬の行われていたことが窺える。

清里の森第1遺跡

所在地 北口摩郡高根町清里
事業名 「清里の森」造成事業
調査期間 昭和61年6月2日
～6月14日
担当者 保坂康夫
面積 3,500m²



清里の森第1遺跡

本遺跡は、県林務部が開発を進めている別荘分譲地「清里の森」地内に所在する。昭和60年に実施した、文化庁の国庫補助による八ヶ岳東南麓遺跡分布調査で発見された。今回の調査は、発見された地点で遺跡の範囲確認調査を行い、開発と文化財保護との調整をはかろうとするものである。調査の結果、遺跡の一部が造成予定の公園にかかることが判明した。この結果をふまえ、県教育委員会と県林務部とで協議し、工法を一部変更して遺跡を保存することを決定し、実施した。なお、本地域は小字名がないため、遺跡名を造成地の名称にちなみ、「清里の森第1」遺跡とした。

調査は、遺跡範囲確認調査という性格上、試掘坑を広範囲に設定する方法を行った。65m × 60mの範囲に、5m間隔で試掘坑を設定した。試掘坑は1.5m四方のもので、遺構を確認した地点では、任意に拡張し、その状格や範囲の確認をした。試掘坑は、合計132ヵ所設定した。

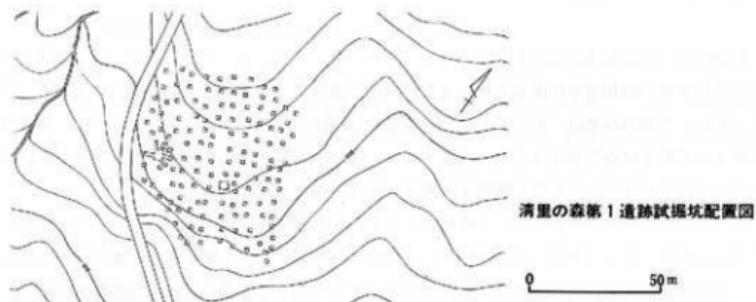
調査の結果、縄文時代中期中葉の住居址1軒、それ以前の、早期のものである可能性がある陥し穴2基を確認した。住居址の立地は、河川の開析によって削り残されたローム層の高地の西斜面である。清里の森地域には、中・小河川が無数に存在し、そうした河川が堆積させたと思われる巨礫の原野が広範囲に分布する。そうした河川の活動でもともと堆積していたローム層が削られ、残った部分が高地や台地状に地形となったとみられる。土層は、上下二分できる黒色土層とソフトローム層、ハードローム層であるが、住居址周辺には暗褐色粘質土がソフトローム層を覆っており、他の地点と異なる。この堆積については、人間活動との関係も問う必要があろう。

住居址は、おおむねひょうたん形を呈し、大小の円がややずれて重なった形態である。土層をみるとかぎり重複ではない。北側の小円の中央に地床炉があり、その周辺から2個体分の土器が出土した。他に黒曜石の剝片数点が出土した。柱穴は4本確認した。南側の大円部は、西側を斜面に切られて壁がない。柱穴のうち3本は、床面と斜面との接線に平行するかたちで配列しているものと思われる。もう1本の柱穴は、炉址の北側、住居址最奥部に位置する。おそらく、西側の斜面側に大きく入口を開口し、炉址をかこむ空間と、何もない空間との、性格の違った2つの空間をもつ構造の住居址であったと思われる。

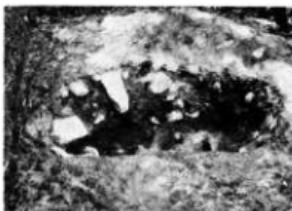
陥し穴は、住居址に切られるかたちで1基、それから南東へ25m離れて1基を確認した。長さ2m、幅1mほどで、底面が平坦で、底面に小穴があいていた。住居址に切られたものは、

小穴 2 個で深さ 30cm ほど、もう一方は小穴 3 個で深さ 80cm ほどであるが、前者は末掘部分があるうえ住居址に切られているが、後者とはほぼ同形態と思われる。両者の主軸の方向も一致する。

今後、この遺跡については、高標高地域に立地する遺跡として、その性格について検討してゆく必要がある。



住居址



陥し穴



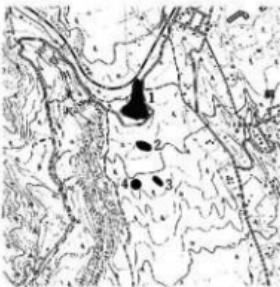
住居址内出土土器



陥し穴

丘の公園第1・2・3・4遺跡

所在地 北巨摩郡高根町清里
事業名 「丘の公園」建設事業
調査期間 昭和61年6月17日～9月5日
担当者 保坂康夫
面積 45,000m²



丘の公園第1～第4遺跡

本遺跡は、県企業局が開発を進めている総合スポーツレクリエーション施設「丘の公園」地内に所在する。昭和59年に実施した、文化庁の国庫補助による八ヶ岳東南麓遺跡分布調査で発見された。今回の調査は、県企業局の委託により、遺跡の範囲確認調査を行い、開発と文化財保護との調整をはからうとするものである。なお、本地域は小字名がないため、遺跡名を開発地域の名称にちなみ、「丘の公園第1・2・3・4」遺跡とした。

調査は、遺跡範囲確認調査という性格上、試掘坑を広範囲に設定する方法で行った。丘の公園第1遺跡は、底辺180m、高さ220mの三角形状の地域に、第2遺跡は120m×70mの範囲に、第3遺跡は60m×80mの範囲に、第4遺跡は70m×70mの範囲にそれぞれ試掘坑を設定した。いずれも、遺物が発見された試掘坑の周辺では5m間隔で試掘坑を設定し、それ以外の部分では10m間隔で設定した。試掘坑は、1.5m×1.5mの大きさで、合計571カ所設定した。

丘の公園第1遺跡は標高1,229m～1,232m。河川の開析によって削り出されたローム層の台地上に広く占地している。この地域は、他の地域とは違い、平坦で一定の傾斜をもつものではない。南辺に東西方向に小高い部分をもち、より西側が高くなっている。それより北側の部分は、ある面積が非常に平坦で、ほとんど傾斜がない。西側に南西方向へ下る小渓谷をもつ。小高い部分から南側へは、この地域としてはかなり急な傾斜面があり、丘の公園第2遺跡のある次の平坦面へと続く。出土遺物は、先土器時代では、二側縁加工と部分加工のナイフ形石器、槍先形尖頭器、彫器、削器など。縄文時代では、早期末の条痕文土器、中期の土器と打製石斧、後期初頭の土器、石鏃などが出土した。遺構は、陥し穴8カ所、性格不明の落ち込み2カ所を確認した。調査範囲のはば全域にわたる大規模遺跡である。

丘の公園第2遺跡は、標高1,210m～1,211m。南西隅に小高い地点があり、傾斜がほとんどないほど平坦で、西側に南西方向へ下る小渓谷をもつ。南辺に小高い部分が不明瞭ではあるが、丘の公園第1遺跡とはほぼ同じ地形である。先土器時代の遺物は、ナイフ形石器である。縄文時代の遺物はないが、陥し穴2基が確認されている。東西60m、南北30mほどの遺跡である。

丘の公園第3遺跡は、標高1,194m前後である。やや傾斜をもつ平坦な地域に立地する。ローム層中から出土した剝片、縄文時代早期末と思われる旋線文系土器が出土した。南北30m東西10mほどである。

丘の公園第4遺跡は、標高1,198mである。やや傾斜をもつ平坦地にあるが、東側に小渓谷が入る。黒色土層中位に焼土が確認されたが、遺物は発見できなかった。出土層位からして、

焼土は縄文時代のものと思われ、遺跡のありかたの一つと考えられる。焼土の範囲は、直径50cmほどである。



丘の公園第1・2遺跡出土石器



丘の公園第1遺跡出土土器



丘の公園第1～第4遺跡
試掘坑配置図

郷藏地遺跡

所在 地 北巨摩郡須玉町比志3042番地他
事 業 名 塩川ダム建設に伴う県道付替工事
調査期間 昭和61年10月1日～11月30日
担当者 田代 孝
面 積 1,700m²

遺跡は釜無川の支流の1つ、塩川の上流にあり、合流点から約13kmの左岸の河岸段丘に接する小台地上にある。

10m × 170mほどの調査区内から、縄文時代中期後半の遺物包含地域と縄文中期の敷石住居址を1軒検出している。敷石住居は主体部が1辺約3.2mの方形で、西辺の中央に張り出し部が設けられている。平板状の敷石は壁際に巡らされており、特に奥壁にあたる部分の両隅に大きめの敷石がみられる。また中央部に設けられた炉址の一部と張り出し部の一部にも敷石がみられる。

遺物は敷石住居址内の奥壁において、石棒、逆位の深鉢形土器、三角彫形土製品、丸石など出土しており、きわめて祭祀的、呪術的遺物であることが認められ、敷石住居の性格などを考える上で興味ある出土例であろう。なお敷石住居址の時期は、縄文中期後半で最終末に位置づけられると思われる。

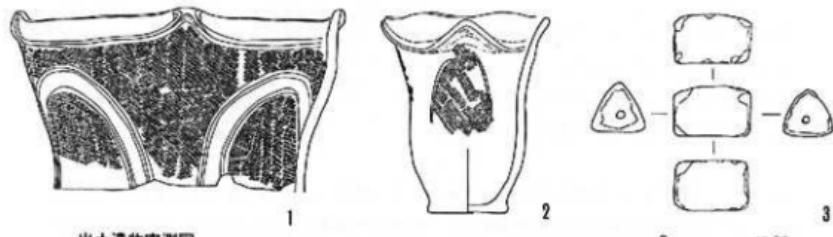
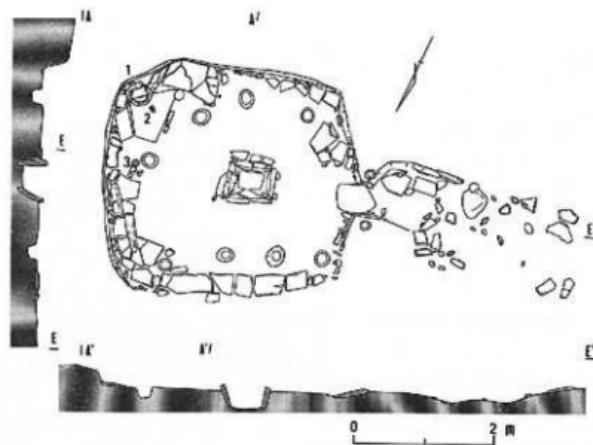
山梨県における敷石住居は、最近の調査によって類例も増えつつあるが、中期後半の時期で方形プランをもつものは初出であろう。敷石住居の集成を行い、その変遷や性格を検討することが期待されている。また、從来から検討されている石棒はもとより、丸石などについても山梨の縄文時代の住居址、配石遺構からの出土例もあり、三角彫形土製品などと共に、今後これらの遺物への研究も期待されているところである。

- 1.郷藏地遺跡
- 2.馬込遺跡
- 3.浜井場遺跡
- 4.大渡峰火台
- 5.比志峰火台
- 6.前の山峰火台



郷藏地遺跡位置図

新石器时代平面图



出土遗物实测图
(1.2. 深鉢形土器 3. 三角形土器製品)



遗址地遣物出土状况

一の沢北遺跡

所在地 東八代郡境川村
小黒坂字一の沢
事業名 笛吹川農業水利事業
調査期間 昭和61年10月2日～
61年11月11日
担当者 末木健、八巻与志夫
面積 500m² (対象面積538m²)

本遺跡は笛吹川左岸に広がる曾根丘陵上(標高470m)に位置する縄文時代中期を中心とする遺跡で昭和57年度から継続的に調査されている。

今回の調査で検出された遺構は、縄文時代の住居址3軒(1・2・4号)、平安時代の住居址1軒(3号)、中世の住居址1軒(5号)、中世の溝2本、中世の櫛列1本であった。

縄文時代の住居址は、前期の住居址が2軒(1号・2号)、中期の住居址が1軒(4号)である。1号は調査区の南端に位置する住居址で床面まで削平されているため、柱穴と地床炉が確認された。2号は1号の南30mに位置し、上層に3号住居址があり、北半分が調査区域外であるが、覆土中から多くの遺物が検出された。4号は調査区の中央に位置し、西半分が調査区域外であるが、やはり覆土中から多くの土器が検出された。3号は、西南隅にカマドをもつ平安時代の住居址であるが、遺物はほとんど出土しない。

5号住居址は4隅に径50cmの柱穴をもつ中世の竪穴住居であるが、遺物は殆ど出土しない。溝は調査区の西半分に集中しているが、時期は中世と思われる。櫛列も同様な時代であろう。調査区西端にあたる減圧水槽建設地は表土が厚く1～1.5mであった。ここからは、縄文時代中期の土壤が6基検出された。



一の沢北遺跡位置図

天神下遺跡

所在地 東八代郡一宮町土塚字天神下458
事業名 笛吹川農業水利事業
調査期間 昭和61年11月18日
担当者 末木健
面積 100m² (対象面積600m²)

本遺跡は、笛吹川の支流である日川の左岸、標高385 mに位置する。表面採取の結果若干の遺物の散布が認められたため、工事計画地内を重機による表土除去後に作業員によって清掃し、遺構や遺物の検出につとめた。しかし、出土遺物及び遺構は検出されなかった。

山口遺跡

所在地 東八代郡豊富村関原字山口153
事業名 笛吹川農業水利事業
調査期間 昭和61年10月14日
担当者 末木健
面積 60m² (対象面積437m²)

本遺跡は、笛吹川左岸に広がる曾根丘陵の東端で、御坂山系に続く山裾に位置する。表面採取によって若干の遺物の散布が認められたため、重機による表土除去後に作業員によって清掃し、遺構や遺物の検出につとめた。しかし、遺物及び遺構は検出されなかった。

クラフトパーク建設遺跡分布調査

所在地 南巨摩郡身延町下山
事業名 クラフトパーク(駿南工芸公園)建設
調査期間 昭和62年2月1日～2月28日
担当者 末木健、八巻与志夫
面積 50ha

対象地域には、中世の焰硝蔵と伝えられる場所があり、これらの部分を試掘した。又、山中には直径10m、高さ2m位のマウンド上に八王子社が祭られていたが、緩斜面には原始、古代に属する集落址は発見されず、中世～近世、近代の土師質土器、陶器、磁器等が採集されている。



公園計画地地形図

八ヶ岳東南麓遺跡分布調査

所在地 北巨摩郡小淵沢町、長坂町、大泉村、高根町、須玉町
事業名 八ヶ岳広域農道建設事業
調査期間 昭和61年9月1日～12月14日
担当者 田代孝
面積 27km（巾約10m）

本調査は昭和60・61年度に国庫補助事業として実施した「八ヶ岳東南麓遺跡分布調査」の対象地域である〈丘の公園・清里の森〉とは別地域を調査地としている。

調査地域は用地買収が始まったばかりで、全線のルートも確定されたのは最近である。従って用地買収済の土地及び、表面採集可能な地点のうち主要地域について試掘調査及び分布調査を行い、遺跡として次の5地点が確認された。

- a 小淵沢町篠八田一縄文土器
- b 高根町東割一縄文土器、土師器、須恵器
- c 高根町箕輪一縄文土器
- d 須玉町穴平一土師器

なお、この他に本調査の山等があるので次回の調査としたい。

塩川ダム建設に伴う遺跡分布調査

所在地 北巨摩郡須玉町塩川比志
事業名 塩川ダム建設事業
調査期間 昭和61年10月1日～12月15日
担当者 田代孝
面積 43ha

県道付替地点及びダム水没地域の表面採集及び試掘調査を実施した。須玉町立北小学校西側の試掘調査では遺構、遺物が発見されなかったが、県道部分では縄文中期終末の集落址が想定できる。ここは郷聚地遺跡であり道路工事に先行して発掘調査を実施することになっている。

なお、塩川集落の南側山頂は、中世武田氏に関係する烽火台と云われ、石積遺構が残存している。

昭和58年度県内発掘調査一覧表(58年度~61年度)

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
1	六科山遺跡	横瀬町平岡字六科山1967外 58等地	横瀬町教育委員会	宅地造成	58. 4. 11~ 58. 10. 31 古墳時代	弥生時代	住居40軒
2	坂田遺跡	須玉町大藏字駒田1728番地他	須玉町教育委員会	開墾整備事業	58. 6. 1~ 58. 10. 31	中世墓地	住居2軒
3	中尾遺跡	須玉町小倉1008番地他	須玉町教育委員会	開墾整備事業	58. 5. 16~ 58. 10. 31	中世城館跡	獨立建物址 幕・平安時代の住居址
4	桑原南遺跡	須玉町上津641番地他	須玉町教育委員会	開墾整備事業	58. 5. 1~ 58. 8. 31	绳文後・晚期	平安時代の住居址
5	竹原遺跡	小瀬沢町3666及073658番地	小瀬沢町教育委員会	開墾整備事業	58. 4. 12~ 58. 7. 30	绳文中期	住居6軒、土塁1
6	鷹ノ巣遺跡	都留市下谷1176番地他	都留市教育委員会	中央道四車線工事	58. 5. 10~ 59. 3. 31	奈良~平安時代	掘文中期3軒、平安時代30軒
7	尾崎原遺跡	都留市野日馬場544-1他	都留市教育委員会	アルル建設	58. 5. 20~ 58. 6. 15	绳文後期	住宅址、配石遺跡
8	東久保遺跡	高根町村川北側東久保	高根町教育委員会	開墾整備事業	58. 5. 27~ 58. 7. 25	平安時代	掘立建物址7
9	鞍掛遺跡	一宮町末木	一宮町教育委員会	個人住宅建設	58. 6. 1~ 58. 6. 30	平安時代	-----
10	南部氏館跡	身延町帷平2955番地外	身延町教育委員会	学術調査	58. 8. 1~ 58. 9. 30	中世	-----
11	中段遺跡	秋山村637番地他	秋山村教育委員会	ゴルフ場造成	58. 6. 6~ 58. 9. 30	绳文時代	-----
12	荒井遺跡	秋山村7248番地他	秋山村教育委員会	ゴルフ場造成	58. 10. 1~ 59. 5. 10	绳文時代	-----
13	真原遺跡	武川村山高3567-25	武川村教育委員会(村史編纂)	学術(村史編纂)	58. 7. 25~ 58. 8. 5	绳文時代	-----
14	田野平遺跡	大和村田野397-1	大和村教育委員会	多目的集会施設	58. 7. 23~ 58. 8. 31	平安時代	住居址2軒
15	市子石遺跡	双葉町下今1954他	双葉町教育委員会	ワイン工場建設	58. 8. 1~ 58. 8. 15	绳文時代	-----
16	野添遺跡	高根町東井出	八ヶ岳南麓遺跡調査会	学術調査	58. 8. 1~ 58. 8. 15	绳文時代	-----
17	井狩遺跡	小菅村3141番地	小菅村教育委員会	試掘	58. 7. 21~ 58. 8. 31	绳文中期	-----
18	松原遺跡	一宮町東原733、734	一宮町教育委員会	果実出荷施設(試掘)	58. 7. 2~ 58. 8. 31	古墳時代前中期	平安時代
19	道生堀遺跡	都留市つる五丁目600番地他	都留市教育委員会	試掘	58. 7. 16~ 59. 3. 31	绳文前期・中期	V字溝

No	遺跡名	所在地	調査主体者	調査日	調査期間	時代	調査の概要
24	義濟神社内遺跡	昭和町西条	昭和町教委	学術調査	60. 8. 24~ 60. 8. 21~	中 後	
25	野添遺跡	高根町東井出	泉拓良	宇都御空	60. 11. 30	繩文時代	
26	上の東遺跡	中西町源原	甲西町教委	烟總	60. 10. 1~	繩文時代	
27	宮間山遺跡	武川村二吹	式川村教委	園場整備事業	60. 7. 19~	平安時代	
28	熊久保遺跡	中道町向上山	中道町教委	グランド造城	60. 8. 19~ 60. 8. 31	繩文時代	
29	於曾屋敷	塊山市下於曾532~6	山梨県教委	建物改築	60. 9. 18~ 60. 9. 30	中 世	土橋・門址
30	智光寺遺跡	塊川村藤原字智光寺	山梨県教委	烟管埋設	60. 10. 15~ 60. 12. 27	古墳時代	
31	切符跡	塊川村藤原字切附	山梨県教委	烟管埋設	60. 10. 15~ 60. 12. 27	古墳時代	
32	猪二郎遺跡	豊富村閑原	山梨県教委	烟管埋設	60. 10. 15~ 60. 12. 27	中 世	
33	横畠遺跡	豊富村大鳥居	山梨県教委	烟管埋設	60. 10. 15~ 60. 12. 27	中 世	
34	別当遺跡	長坂町大八田	長坂町教委	園場整備事業	60. 10. 26~ 60. 11. 30	中 世	
35	牛石遺跡	都留市厚原字牛石	都留市教委	農村整備事業	60. 11. 1~ 61. 3. 20	繩文時代	
36	休休遺跡	櫛形町下市之浦	櫛形町教委	工業団地造成	60. 11. 15~ 61. 1. 31		
37	木郷遺跡	甲府市善光寺二丁目	甲府市教委	市街住宅建設	60. 11. 15~ 61. 1. 18	中 世	
38	の森経塚	甲府市上横琴寺町1855	市史編纂委員会	学術調査	60. 11. 18~ 60. 12. 30	中 世	
39	弥治郎塚	豊富村木原字弥治郎	豊富村教委	土採取	60. 10. 2~ 60. 10. 5	弥生時代	
40	宮の前遺跡	飯島町牛久	飯島町教委	建物建設	60. 11. 18~ 60. 11. 30	繩文時代	
41	小手指遺跡	須玉町若神子	須玉町教委	道路新設	60. 12. 12~ 60. 12. 13	中 世	
42	甲斐国分寺跡	一宮町国分	官町教委	範明礎調査	61. 2. 1~ 61. 3. 31	古 代	
43	東光寺庭園遺跡	甲府市東光寺3~7~37	甲府市教委	庭園整備	61. 2. 14~ 61. 3. 10	中 世	

No.	遺跡名	所 在 地	調査主体者	調査日 期	調査期間	時 代	調査の概要
40 曾根遺跡	楠形町上宮地字曾根821・824 883-895・912-918	楠形町教委	農道施設	58. 9. 1~ 58. 10. 31	弥生～古墳時代		
41 六科山古墳	楠形町平岡字六科山	楠形町教委	宅地造成	58. 10. 1~ 58. 10. 31	古墳時代前期		
昭和59年度							
1 嶺田・1丁目遺跡	中野市嶺田一丁目	山梨県教委	宿泊施設建設	59. 4. 10~ 59. 5. 31	弥生～古墳時代	遺物アラ箱 3 ~ 4	
2 柳坪遺跡	長坂町大八田字柳坪	山梨県教委	中央道インター建設	59. 4. 10~ 60. 3. 31	縄文・平安時代	住居30軒	
3 朝久遺跡	甲府市朝氣1~11他	甲府市教育委員会	小学校建設	59. 4. 16~ 59. 8. 31	弥生～古墳時代	木製品、ガゴ	
4 金場原遺跡	(近江櫛原町金場原1-19)	高根町清里字金場原	ゴルフ場建設	59. 5. 1~ 59. 5. 31	旧石器時代		
5 小和田鉢	長坂町大八田字小和田	長坂町教委	闇場整備事業	59. 4. 20~ 59. 9. 20	中世	古坟6~700枚、和鏡出土	
6 東久保北遺跡	高根町村山北側	高根町教委	闇場整備事業	59. 5. 21~ 59. 8. 30	平安時代	世の中の集落地	
7 清水遺跡	甲西町清水字山下	甲西町教委	保育園建設	59. 4. 25~ 59. 4. 28	編文時代	遺構なし	
8 東姥神B遺跡	大泉村西井出	大泉村教委	闇場整備事業	59. 4. 27~ 59. 6. 20	平安時代		
9 上野山遺跡	楠形町上野	楠形町教委	扇道改良工事	59. 5. 1~ 59. 6. 31	中世		
10 新井下遺跡	高根町村山北側	高根町教委	闇場整備事業	59. 4. 20~ 59. 5. 20	編文時代		
11 中田小学校遺跡	並崎市中田町字西刺	並崎市教委	闇場整備事業	59. 5. 20~ 59. 9. 30	平安時代		
12 福り久保遺跡	御坂町金川原字福り久保	御坂町教委	工業団地造成	59. 5. 28~ 59. 6. 30	古墳時代		
13 桜古屋遺跡	白州町台ヶ原字桜古屋	白州町教委	闇場整備事業	59. 6. 7~ 59. 6. 31	編文時代		
14 宮原遺跡	福留市法能923	福留市教委	学校改築	59. 6. 1~ 59. 8. 31	編文時代		
15 宮之上遺跡	勝沼町勝沼字宮之上	勝沼町教委	駐車場造成	59. 6. 1~ 59. 6. 30	編文時代		
16 国分寺開発遺跡	官町国分字北前田886-3-365	官町教委	公民館建設	59. 8. 1~ 59. 9. 10	奈良時代		
17 大藏經寺義支群	石和町松本1459 第15号	山梨学院大学 考古学研究	学術調査	59. 7. 20~ 59. 7. 31	古墳時代		

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
18	原の前遺跡	須玉町上津金	須玉町教委	墳場整備事業	59. 7. 2~59. 8. 31	縄文時代	
19	向原遺跡	武川村黒沢字向原1776	武川村教委	学術調査	59. 8. 17~59. 8. 31	縄文・弥良時代	
20	野添遺跡	高根町東井出字野添	八ヶ岳山麓巡回学術調査団	学術調査	59. 8. 1~59. 8. 25	縄文時代	
21	御輿休場遺跡	富士吉田市小明見字 御輿休場227	富士吉田市教委	土採取	59. 8. 1~60. 3. 31	縄文時代前期	生け1軒
22	大平遺跡	長坂町中島字大平	長坂町教委	ゴルフ場建設	59. 9. 1~59. 9. 20	平安時代	墓葬なし(旧石器出土)
23	中畠遺跡	中道町中畠字戸原1127他	中道町教委	農地造成事業	59. 9. 9~59. 9. 30	平安時代	遺構なし
24	川又遺跡	須玉町穴半3220他	須玉町教委	墳場整備事業	59. 9. 17~59. 11. 10	縄文時代	
25	村上遺跡	中道町右口字村上931他	山梨県教委	姫骨埋設	59. 10. 1~59. 12. 15	平安時代	
26	上野原遺跡	中道町右口字上野原825	山梨県教委	姫骨埋設	59. 10. 1~59. 12. 15	平安時代	
27	後呂遺跡	中道町右口字舞戸3155	山梨県教委	姫骨埋設	59. 10. 1~59. 12. 15	古墳時代	
28	浜井場遺跡	豊富村闇字浜井場1560	山梨県教委	姫骨埋設	59. 10. 1~59. 12. 25	縄文~弥生時代	
29	上の平遺跡	八代町米倉2037他	八代町教委	墳場整備事業	59. 10. 1~59. 12. 35	平安時代	
30	前田遺跡	小瀬沢町下神尾1348他	小瀬沢町教委	墳場整備事業	59. 11. 1~59. 11. 30	平安時代	
31	朝日遺跡	中道町上曾根字朝日4011他	中道町教委	姫骨埋設	59. 10. 23~60. 1. 1	平安時代	
32	物見塚遺跡	境川村寺尾4103他	境川村教委				
33	若袖子城(北城)	須玉町新神子字手2868他	須玉町教委	姫骨埋設調査	59. 10. 15~59. 10. 30	平安時代	
34	机遺跡	境川村小黒坂字手占266~54	境川村教委	ゴルフ場建設	59. 11. 20~60. 3. 31	縄文時代	
35	寺平遺跡	境川村小黒坂字古松2210~75	境川村教委	ゴルフ場建設	60. 3. 31	縄文時代	
36	龜の子A遺跡	境川村小黒坂字古松2220~65	境川村教委	ゴルフ場建設	59. 11. 20~60. 3. 31	縄文時代	
37	龜の子B遺跡	境川村小黒坂字古松2189~15	境川村教委	ゴルフ場建設	59. 11. 20~60. 3. 31	縄文時代	

No.	遺跡名	所在地	調査主体	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
38	鬼の子C遺跡	境川村小黒坂字手占松2189-29	境川村教委	ゴルフ場施設	59. 11. 20~ 60. 3. 31	縄文時代	
39	砂原山遺跡	境川村小黒坂字手占松2268-22	境川村教委	ゴルフ場施設	59. 12. 20~ 59. 12. 27	縄文時代	
40	登桂遺跡	豊賀村大鳥居店字登桂2506-1	豊富村教委	土採取	60. 2. 28	縄文時代	
41	大竹遺跡	西桂町下暮地2887他	西桂町教員	廃道改良工事	60. 2. 28	縄文時代	
42	坂井南遺跡	那輪市轟井町北下条字大原	五崎市教委	工場建設	60. 2. 28	縄文時代	
43	川又坂上遺跡	高根町芦輪新町字川又坂上	高根町教委	地場駅場事務	59. 12. 1~ 59. 12. 31	縄文時代	
44	櫛田横石塚39号墳	甲府市櫛田1156	甲府市教委	猿石古墳群成因 調査	60. 2. 1~ 60. 2. 28	古墳時代	
45	浜井片場遺跡	豊富村岡原字浜井片場	豊富村教委	土採取	60. 2. 4~ 60. 2. 10	弥生時代	
46	閑原遺跡	豊富村閑原	豊富村教委	土採取	60. 2. 18~ 60. 2. 23	縄文時代	
47	机遺跡	境川村小黒坂字吉松	境川村教委	ゴルフ場造工事	60. 3. 11~ 60. 6. 29	縄文時代	
48	寺平遺跡	境川村小黒坂字吉松	境川村教委	ゴルフ場造成工事	60. 3. 11~ 60. 6. 29	縄文時代	
49	鬼の子A遺跡	境川村小黒坂字手占松	境川村教委	ゴルフ場造成工事	60. 3. 11~ 60. 6. 29	縄文時代	
50	砂原山遺跡	境川村小黒坂字手占松	境川村教委	ゴルフ場造成工事	60. 3. 16~ 60. 6. 29	縄文時代	
51	羅漢寺遺跡	教島町吉沢字羅漢山	教島町教委	寺院配置の解明	60. 3. 1~ 60. 10. 31	古墳時代	
52	坂井南遺跡	那輪市轟井町北下条字大原	五崎市教委	工場建設	60. 3. 1~ 60. 12. 28	古墳時代	
53	南山遺跡	増穂町春来字南山	増穂町教委	仏教関連遺跡整備 調査	59. 8. 1~ 60. 3. 31	世紀	泥跡
54	奥濱久保遺跡	那輪市小明見字奥濱久保3670	富士吉田市教委	土採取	59. 8. 1~ 60. 3. 31	縄文時代	

昭和60年度

1	原町前兩遺跡	中道町中烟字麻浜前	中道町教委	土採取	60. 4. 15~ 60. 4. 25	縄文時代	
2	向山遺跡	中道町中烟字松林	中道町教委	土採取	60. 4. 15~ 60. 4. 25	縄文時代	
3	真前原塚址	宮町東原字宮東	宮町教委	宅地造成	60. 5. 7~ 61. 3. 31	古代・中世	地跡・土器・建物址

No	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
4	柳坪遺跡	長坂町大八田字二反田	長坂町教委	中央道長坂インター	60. 5. 20~ 60. 6. 4	編文~平安時代	
5	かんかん塚古墳	中道町下曾根字岩清水	山梨県教委	公園監修	60. 5. 25~ 60. 6. 14	占墳・中世	
6	心経寺上之原遺跡	中道町心経寺字横畠	中道町教委	土採取	60. 5. 24~ 60. 5. 31	編文時代	
7	上の平遺跡	中道町下向山字上の平	山梨県教委	公園整備	60. 6. 15~ 60. 11. 15	編文・弥生	
8	豆生川第三遺跡	大桑村谷戸	人桑村教委	園場整備事業	60. 6. 1~ 60. 7. 30	平安時代	
9	金山遺跡	笛崎市中田町中条	笛崎市教委	園場整備事業	60. 7. 1~ 61. 3. 31	編文時代	
10	下木戸遺跡	笛崎市中田町小田川	笛崎市教委	園場整備事業	60. 7. 1~ 61. 3. 31	編文時代	
11	中道遺跡	笛崎市中田町小田川	笛崎市教委	園場整備事業	60. 7. 1~ 61. 3. 31	編文時代	
12	石室遺跡	高根町東井出	高根町教委	園場整備事業	60. 7. 1~ 60. 8. 31	編文時代	
13	西ノ原遺跡	高根町村山西割	高根町教委	園場整備事業	60. 6. 1~ 60. 6. 30	編文時代	
14	朝氣遺跡	甲府市朝氣1~9	甲府市教委	道路新設	60. 7. 1~ 60. 8. 10	古墳時代	
15	吉原遺跡	小瀬沢町5672他	小瀬沢町教委	園場整備事業	60. 7. 1~ 61. 3. 31	中世	
16	御里敷遺跡	須玉町下井金	須玉町教委	園場整備事業	60. 7. 22~ 61. 3. 31	平安時代	地下式土坑2 埴輪遺物2
17	儀生遺跡	須玉町江草	須玉町教委	園場整備事業	60. 7. 22~ 61. 3. 31	編文時代	
18	川又南遺跡	須玉町六平	須玉町教委	園場整備事業	60. 7. 12~ 61. 3. 31	編文・平安時代	
19	横横石塚9号墳	甲府市辰井町808他	甲府市教委	農道改良	60. 7. 14~ 60. 9. 30	古墳時代	
20	小利田龜塚	長坂町大八田	長坂町教委	園場整備事業	60. 7. 10~ 60. 10. 10	中世	
21	駒井遺跡	笛崎市藤井町鶴井	山梨県教委	県道改良	60. 7. 22~ 60. 8. 31	中世	
22	新田遺跡	从業町团子新居	从業町教委	園場整備事業	60. 7. 22~ 60. 7. 26	編文時代	
23	清水端遺跡	明野村上手	明野村教委	園場整備事業	60. 7. 22~ 60. 9. 20	中世	

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
20	間門遺跡	境川村	境川村教委	土探取	58. 8. 1~ 58. 8. 3	縄文・前古 時代	縄文・前古 時代
21	久保屋敷遺跡	垂崎市鬼町上条北側 字久保屋敷440-1他	山梨県教委	烟管埋設	58. 10. 15~ 58. 10. 15	縄文・早・中 世	縄文・中期・古 墳時代
22	勝沼氏館跡	勝沼町勝沼2289他	山梨県教委	烟管埋設	58. 10. 1~ 58. 12. 15	中世	縄文・中期
23	藤袋遺跡	境川村藤袋字切削229他	山梨県教委	烟管埋設	58. 10. 1~ 58. 12. 15	平安時代	縄文・前・中 古墳時代
24	市川北遺跡	山梨市市川平丸2848	山梨県教委	烟管埋設	58. 10. 1~ 58. 12. 15	中世	縄文・前・中 古墳時代
25	一の沢遺跡	境川村小黒建立石498他	山梨県教委	烟管埋設	58. 10. 1~ 58. 12. 15	後鳥・古墳後期	縄文11軒、土塙100
26	手古松遺跡	境川村古松2210-10他	山梨県教委	烟管埋設	58. 10. 1~ 58. 12. 15	平安時代	住居1軒
27	三百水遺跡	垂崎市鬼坂町大字二ツ沢 字中坊采行711他	垂崎市教委	工場建設	58	縄文中期	——
28	東姥神遺跡	大泉村西井出4284番地	大泉村教委	園場整備事業	58. 9. 19~ 58. 11. 20	平安時代	縄文・平安時代
29	五里原遺跡	八代町南119番地他6筆	八代町教委	烟 烟	58. 11. 1~ 58. 12. 25	平安時代	住居3軒、構・配石(古墳)
30	原平遺跡	大月市大月真木子原平691 外128筆	大月市教委	工業団地	58. 11. 25~ 59. 12. 31	後期・平安時代	縄文・前・中 古墳時代
31	梅木田遺跡	垂崎市旭町上等鬼附 字梅木田598番	垂崎市教委	住宅建設	58. 11. 10~ 59. 3. 31	古墳時代	——
32	横畠遺跡	横畠町牛之庄830-1	御坂町教委	集会施設建設	58. 12. 9~ 58. 12. 19	古墳時代	縄文・前・中 古墳時代
33	字山平遺跡	豊富村字高部字東林438	豊富村教委	土探取	59. 2. 18~ 59. 2. 20	古墳時代・中世	——
34	清水遺跡	甲西町大字清水字中下 27, 28, 29, 30, 33, 34	甲西町教委	町立保育園建設	59. 3. 5~ 59. 3. 7	縄文時代	——
35	积迦堂遺跡	一宮町千木字堀越北706 外 南野呂字尾207-1外	一宮町教委	純圓形調査	58. 3. 12~ 59. 3. 27	縄文時代	——
36	北原遺跡	甲府市東光寺字北原1377番	甲府市教委	地盤調査実験センタ ー建設	59. 11. 1~ 59. 1. 31	古墳時代	——
37	人冢古墳	磐島町境258	数鳥町教委	学术調査	58. 3. 16~ 59. 3. 20	古墳時代	——
38	大善寺中世墓群	勝沼町勝沼8553	勝沼町教委	学术調査	58. 9. 5~ 59. 3. 31	中世	——
39	宮之上遺跡	勝沼町勝沼字宮之上	勝沼町教委	確認調査	58. 12. 15~ 59. 3. 31	縄文中期	——

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	點代	調査の概要
44	赤坂瓦塚古墳	竜王町電工794-13	竜王町教委	範囲確認調査	61. 3. 22~ 61. 3. 31	古墳時代	
45	下宮古墳	中西町下宮地	中西町教委	動物施設	61. 2. 22~ 61. 3. 26	平安時代	
46	乙女遺跡	境川村豫定	境川村教委	範囲確認調査	61. 3. 7~ 61. 3. 8	古墳時代	
昭和61年度							
1	上の平遺跡	中通町向山字上平1134他	山梨県教委	道路建設	61. 4. 25~ 61. 9. 30	縄文・弥生	5,400m ²
2	尾咲原遺跡	都留市朝日馬場544-1	都留市教委	学校建設	61. 5. 18~ 61. 7. 31	縄文・時代	2,100m ²
3	木遺跡	精霊御下市之横子木本1225他	精霊町教委	工業団地建設	61. 5. 20~ 61. 8. 31	縄文・奈良時代	6,000m ²
4	下宵地遺跡	中西町人字下宵字池沢沢通	中西町教委	店舗建設	61. 4. 28~ 61. 5. 7	古墳時代	
5	西川遺跡	須玉町穴平2660他	須玉町教委	賀場整備事業	61. 5. 15~ 61. 9. 30	縄文・平安	800m ²
6	石室遺跡	高根町東井井出	高根町教委	賀場整備事業	61. 5. 15~ 61. 8. 31	縄文・時代	1,800m ²
7	羅漢寺施主跡	板島町吉吉字羅漢山	板島町教委	字街調査	61. 5. 26~ 61. 5. 36	中世	50m ²
8	宮の脇遺跡	甲府市若草丁目ノ脇2263-1他	甲府市教委	学校建設	61. 6. 1~ 61. 6. 30	縄文・平安	500m ²
9	清里の森第1遺跡	高根町清里原字林内	山梨県教委	公園造成	61. 6. 2~ 61. 7. 31	縄文・時代	2,000m ²
10	屋の裏遺跡	高根町東井出字櫻の裏	高根町教委	賀場整備事業	61. 6. 6~ 61. 8. 31	縄文・時代	10,000m ²
11	神ノ木・大正寺遺跡	高根町山西割字大正寺	高根町教委	賀場整備事業	61. 6. 6~ 61. 8. 31	縄文・平安	10,000m ²
12	御屋敷西遺跡	須玉町下津金1081他	須玉町教委	賀場整備事業	61. 5. 6~ 61. 9. 30	縄文・平安	4,200m ²
13	甲斐国分寺遺跡 (北庭遺跡)	一宮町国分寺字細米389	一宮町教委	住宅建設	61. 6. 1~ 61. 6. 30	縄文・平安	295.97m ²
14	坂下遺跡	白州町白須字坂下4221他	白州町教委	賀場整備事業	61. 11. 1~ 61. 12. 31	縄文・弥生・平安	3,300m ²
15	無名墳	中御町下曾根小字岩清水945他	山梨県教委	公園整備	61. 6. 5~ 61. 6. 12	古墳時代	47m ²
16	宮間田遺跡	武川村三吹字宮間田1337他	武川村教委	賀場整備事業	61. 6. ~ 61. 9. 30	平安・中世	12,000m ²

No.	道 路 名	所 在 地	開 収 主 体 者	開 収 目 的	調査期間	時 代	調査の概要
17	斤の公園内道路群	高根町清里鬼念場原	山梨県教委	公園造成	61. 6. 10~ 61. 6. 8. 31	旧石器・縄文	20,000m ²
18	中 本 田 道 路	笛崎市六山町字中本田	笛崎市教育委	公園修築事業	61. 7. 1~ 62. 3. 31	縄 文 時 代	2,000m ²
19	焼 神 道 路	大泉町西井出3556	大泉村教委	公園修築事業	61. 6. 12~ 62. 3. 31	縄 文 時 代	5,000m ²
20	堂 の 前 道 路	韭崎市轟井町奥井字堂の前53他	韭崎古教委	公園修築事業	61. 7. 1~ 62. 3. 31	平安 時 代	6,000m ²
21	小 漱 氏 館 路	甲府市小瀬町589-590 他	甲府市教育委	河川改修	61. 6. 20~ 61. 7. 10	中 世	400m ²
22	石 上 り 道 路	小瀬沢町6325-6326	小瀬沢町教委	面積整備事業	61. 6. 16~ 62. 3. 31	平安 時 代	4,000m ² 住居 3軒 他
23	カ イ ル 道 路	上野原町原字カイル	上野原町埋蔵文化財調査会	ゴルフ場建設	61. 8~ 61. 11. 30	縄 文 時 代	120m ²
24	穴 泣 沢 道 路	上原原町原字穴沢	上野原町埋蔵文化財調査会	ゴルフ場建設	61. 8. ~ 61. 11. 30	縄 文 時 代	3,000m ²
25	橋 项 章 道 路	猪郷町大字春米字南山2457	猪郷町教委	学術調査	61. 9. 13~ 62. 3. 31	中 世	100m ²
26	轉 藏 地 道 路	猪郷町大字北之字坂下3038-2地	山梨県教委	道路建設	61. 10. 1~ 61. 11. 31	縄 文 · 平 安	1,964m ²
27	一 の 汗 西 · 金 山	境川村小黒姫696-1 他	境川村教委	道路建設	61. 9. 2~ 61. 11. 30	縄 文 時 代	5,500m ²
28	普 門 寺 道 路	明野村上手6738 他	明野村教委	面積整備事業	61. 9. 13~ 62. 3. 31	平安 · 中 世	647m ²
29	桑 地 3 号 塙	吉町山分字桑地920-6	吉町可教委	農業開墾	61. 9. 24~ 62. 3. 31	古 墓 時 代	500m ²
30	一 の 湯 北 道 路	境川村小黒姫立石709 他	山梨県教委	畑管理設	61. 10. 1~ 61. 11. 15	縄 文 時 代	500m ²
31	山 口 道 路	豊富村園原字山口153 他	山梨県教委	畑管理設	61. 9. 13~ 61. 10. 18	縄 文 · 平 安	437m ²
32	天 神 下 道 路	一宮町土原字天神堂458 他	山梨県教委	畑管理設	61. 10. 13~ 61. 10. 18	平 安 時 代	100m ²
33	岩 清 水 道 路	中瀬町下柳字小守岩清水29 他	山梨県教委	公園整備	61. 10. 1~ 61. 11. 30	弥 生 時 代	2,600m ²
34	寺 本 魔 神 道 路	春日局町寺本	春日局町教委	学術研究	61. 10. 27~ 61. 12. 27	奈 良 時 代	400m ²
35	真 道 沢 道 路	八代町南小字真道沢1615-1 他	八代町教委	宅地造成	61. 10. 3~ 61. 10. 15	弥 生 · 奈 良 時 代	6,263m ²
36	中 要 国 分 寺 道 路	一宮町国分210-211-214	一宮町教委	学術調査	61. 11. 1~ 62. 3. 25	奈 良 · 平 安	150m ²

No.	遺跡名	所在地	調査主体者	調査目的	調査期間	時代	調査の概要
37	荒神山塚跡遺跡	山梨市東576番地	山梨市教育委員会	農業開発	61. 11. 1~ 62. 2. 28	平安時代	54m ²
38	東光寺庭園遺跡	甲府市東光寺前三丁目1949番地	甲府市教育委員会	庭園整備	61. 6. 23~ 61. 9. 30	中世	1,465m ²
39	池之元遺跡	富士吉田市新倉字之元2009番地	富士吉田市教育委員会	学術調査	61. 8. 18~	編文・平安時代	350m ²
40	本郷遺跡	甲府市西光寺二丁目1923、一宮町千木寺塚越北川	甲府市教育委員会	住宅建設	61. 7. 21~ 61. 8. 31	編文・古墳・中世	700m ²
41	駒場塚跡群B地点	駒場塚跡群B地点	博物館建設	博物館建設	61. 10. 9~ 61. 10. 18	編文時代	500m ²
42	大羽沢塚跡	敷島町天狗塚北川	敷島町教育委員会	学術調査	61. 12. 10~ 61. 12. 17	奈良時代	891m ²
43	牛石遺跡	駒留村原牛石	都留市教育委員会	道路建設	61. 12. 10~ 62. 3. 30	編文・奈良・平安時代	1,400m ²
44	三光神道跡	八代町木井	八代町教育委員会	道路建設	61. 12. 11~ 62. 3. 31	編文・奈良時代	500m ²
45	靴屋敷遺跡	長坂町白井沢	長坂町教育委員会	圃場整備事業	61. 7. 1~ 62. 3. 25	編文・近世	3,620m ²
46	別当遺跡	長坂町大八田	長坂町教育委員会	圃場整備事業	61. 7. 1~ 62. 3. 25	編文・近世	8,250m ²
47	別当十三塚遺跡	長坂町大八田	長坂町教育委員会	圃場整備事業	61. 7. 1~ 62. 3. 25	近世	1,000m ²
48	深草遺跡	長坂町大八田	長坂町教育委員会	圃場整備事業	61. 7. 1~ 62. 3. 25	平安時代	1,430m ²
49	国府遺跡	春日吉町国府	春日吉町教育委員会	学術調査	62. 1. 20~ 62. 1. 27	古墳・奈良・近世	30m ²
50	浅間遺跡	若草町加賀美	若草町教育委員会	宅地造成・工場	62. 2. 4~ 62. 3. 25	平安・中世	2,724m ²
51	船宿遺跡	身延町下山字鶴巣	山梨県教育委員会	公園造成	62. 2. 4~ 62. 2. 5	中世	000m ²
52	久保遺跡	中道町下向山熊久保	中道町教育委員会	駐車場	62. 2. 22~ 62. 3. 31	編文・彌生・古墳時代	2,382m ²
53	武田氏館跡	甲府市竹内町1310、1311	甲府市教育委員会	立構確認	62. 2. 20~ 62. 3. 31	中世	430m ²
54	蘿木遺跡	八代町増和字沢の木	山梨県教育委員会	道路建設	62. 3. 2~ 62. 3. 31	弥生・古墳・中世	21,800m ²
55	関山遺跡	上野原町上野原関山他	山梨県教育委員会	道路建設	62. 3. 9~ 62. 3. 31	編文・平安・中世	21,800m ²
56	小瀬氏館跡	甲府市小瀬町590番地他	甲府市教育委員会	河川改修	62. 3. 2~ 62. 3. 31	中世	800m ²

1987年3月25日 印刷
1987年3月31日 発行

年報 3

発行所 山梨県埋蔵文化財センター
印刷所 株式会社 少国民社

